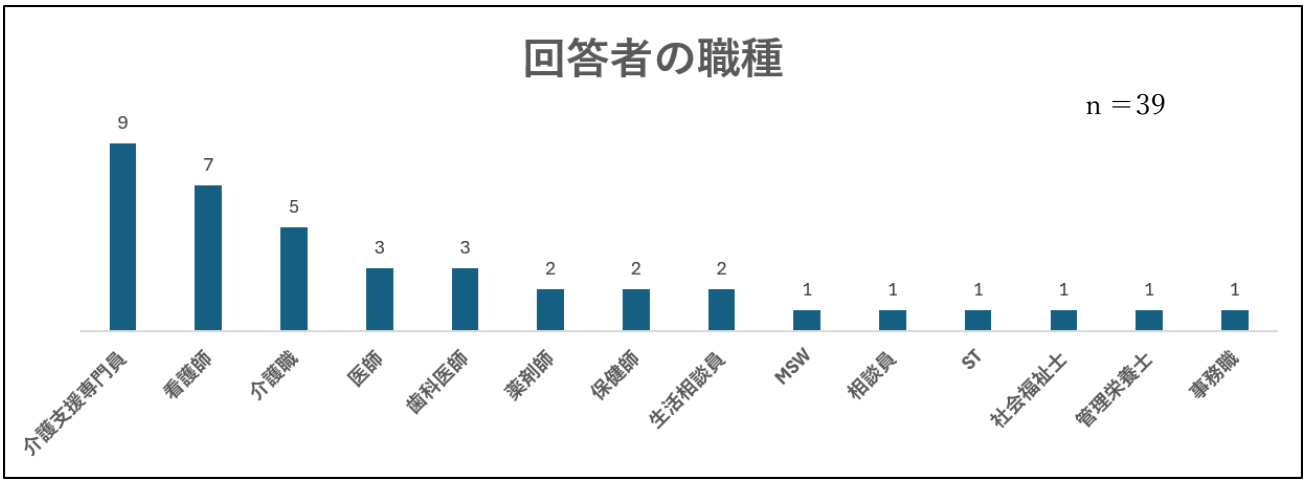
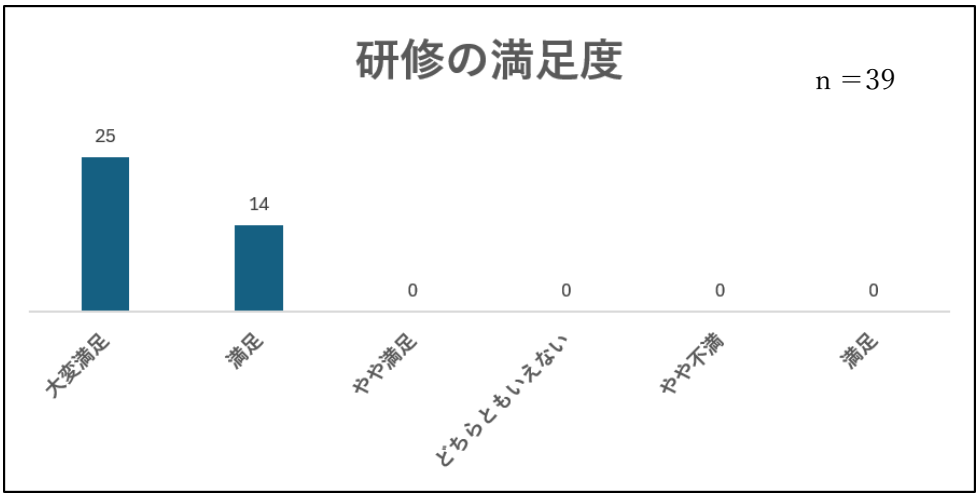
令和８年度第２回多職種連携・人材育成研修会　終了後アンケート集計結果

参加者：４８名

アンケート回答者：３９名



１　研修会の満足度について



２　学んだこと、新たに知り得たこと、感想等

・経口摂取できない方の方が悪くなること。

・高齢者の方の口腔ケアの現状をいろんな立場から伺えたのが良かった。歯のケアも参考になった。

・あいうべ体操で誤嚥のリスクが減り、肺炎の予防につながるということ。

・オーラルピースを使いたいと思った。

・寝たきり、入院中の高齢者の方に普段はかかわる職種ではないため、その視点・立場からの話をたくさん聞け、刺激になった。ありがとうございます。オーラルピースという用品は今回初めて知った。

・難しく考えないで、ハードルを低くして、毎日行う。

・口腔ケアの重要さをやはり若い世代から伝えていくことが大切だと思った。（保健師）

・歯周病→早産への影響のメカニズムがわかっていなかったので、今日知れたことが良かった。妊婦さんに関わることが多いので、伝えていきたい。口腔ケア用品の使い分けが知れたので、自分のことにも勉強になった。

・口腔ケアが重要なこと。口腔体操、マッサージで唾液の分泌を促す。他施設との交流も図れて良かった。

・オーラルピースを使用してみたいと思った。

・他職種の話が聞けて参考になった。

・口腔ケア中の唾液が中に入るのは危険だということ。

・現場での困りごとを知れて良かった。（歯科医師）

・多職種の口腔への関心の多さがはげみになります。（歯科医師）

・オーラルピースという歯みがきチューブがあることは知らなかった。

・口腔ケアの重要性の再認識。保湿剤の使用がよい(施設入所者等、口腔内乾燥が目立つ)。

・歯科医師の先生方を知ることができてよかった。グループワークで多職種の意見を聞くことができてよかった。オーラルピース、使いたい。

・誤嚥性肺炎と口腔ケアの重要性を学んだ。口腔内について意識する。

・歯科受診、歯科医への相談が身近に行えると感じた。

・専門性を意識した自分の役割を把握して対応したい。

・口から食べられない人の方が誤嚥性肺炎になりやすい。胃ろう等経管栄養をしている方こそ、しっかりと口腔ケアをする必要がある。一人の人間に対して病気は内科的なことであっても、歯科の病気が関連していること、双方が連携していくことの大切さを学んだ。

・口腔ケアをした後の唾液が一番汚いのでうがいは大切。食べない人の方が口腔内は汚れやすいということを学んだ。セルフケアとプロケアが大切。

・根気が大事、あせらず少しずつすすめる。

・あいうべ体操はしっかりやることで口呼吸が鼻呼吸になり、誤嚥も防げ、虫歯や歯周病も防げることが改めてよくわかった。ありがとうございました。

・食欲低下について、体調だけでなく口腔内や歯の調子について気にすることも大切と感じた。

・口腔ケアの必要性、メリット、デメリットを再確認できた。LINE で予約できる。

・歯科医の先生に質問でき、多職種からの意見が聞けて勉強になった。

・訪問看護では身体ケアが中心で、口腔内は二の次になっていたが、今回の話を聞き、口腔内にもしっかり目を向けていきたいと思った。

・摂食により口腔内の汚れが取り除けること。口腔内の清潔を保てない方は食物残渣が多いこともあるため、まずはうがいをして大きいものを出すことで「さっぱりした」という気持ちも大事であること。自宅でケアができていない方へは、まず洗面所の前に立ち、口腔内を自分自身で見ていただく機会も大事だということ。

・義歯を作成するだけでなく、その後の栄養指導も重要であること。

・他職種の方がどのくらいマウスケアについて知っているのか、取り組んでいるのかが分かってよかった。病院から施設にどのように申し送ればよいかが分かった。(看護師)

・病院(歯科医院？)に、訪問(歯科)診療の依頼ができること。(看護師)

・口を見れば健康状態や予後がだいたい経験上わかるが、歯科医師の話を聞いて口の中の傷や炎症から病原菌が入ってしまうというのがよく理解できた。

・普段聞くことのできない施設の口腔ケア等について知ることができて良か

った。

・チャンスが少ない。ケア用品紹介が興味深かった。もっと歯ブラシ(電動)についても聞きたかった。(事務職)

・歯科の先生にいろいろ質問できて良かった。オーラルピースを知ることができた。歯科の先生方がやさしく話しやすいことに気づいた。

・研修時間を気にせず受けたかった。次回は森下先生、宮原先生に時間を気にせず話をしてほしいと思った。現場で一番口腔ケアを知っておくべき看護師の参加が少ないのが気になった。

・いい話をしてもらい勉強になった。利用者に対して、これからも頑張っていきたいと思う。

３　今後取り組んでいこうと思う「口腔ケアの実践」「口腔ケアの啓発活動」などについて

・口内環境と健康のつながりについてのパンフレットなどを置く。オーラルケア用品(OTC)を取りそろえる。(薬剤師)

・薬局では飲み込みにくいなど、だいぶ症状が進んだ方に気づくことが多いので、早めに気づけるように努めたい。(薬剤師)

・歯科の定期受診。あいうべ体操の普及。(ＭＳＷ)

・デイサービスの利用者に口腔ケアの実践はなかなか難しいが、声かけをしていこうと思う。(生活相談員)

・オーラルピースを検討してみて、可能であれば利用者様、ご家族様にお勧めできるようになるかもしれない。「あいうべ体操」を数年前に実施していたがいつの間にかやらなくなっていた。これを機に再開するのもよいと考えた。（生活相談員）

・毎日行う。75 歳なので 80－20 を目指す。（相談員）

・訪問した際に口腔の状態について聞き取りや声かけをして、歯科医とも連携していきたい。（保健師）

・高齢の方はもちろん、妊婦さんへの早産リスク（歯周病との関連）、子どもに歯みがきをする乳幼児の保護者にも意識づけ→それが子どもの意識向上につながること。定期受診の大切さ、「歯医者さん怖くない」と子どもに知ってもらうように伝えていきたい。（保健師）

・あいうべ体操を毎食前にしたらよい。利用者の意識向上に努めたい。（介護職）

・口腔ケアの重要性を利用者、職員へ伝えていくことが大切。学習会なども計画していきたいと思った。（介護職）

・自歯、義歯の利用者様を見極め、合った声かけをさせていただく。（介護職）

・訪問歯科をうまく利用したい。（介護職）

・患者、利用者、新見市民に口腔ケアについて知ってもらう方法を歯科医師

会で考えていきたい。（歯科医師）

・歯科のことを取り上げていただきありがとうございました。質問を受けることで、歯科でない方からの意見が聞けて良かった。（歯科医師）

・積極的に、ＤＭ等の患者さんに歯科受診を勧めたいと思う。（医師）

・日々の診療で口腔内を診る心がけ。施設の方の歯科コンサルトを勧める。（医師）

・もっと口腔ケアの重要性を伝える。（介護支援専門員）

・歯科医師と一緒の担当者会議。（介護支援専門員）

・口腔ケアの大切さを啓発していきたい。訪問診療のできる先生を紹介する。（介護支援専門員）

・いろんな道具があるので、活用していきたい。日々の情報提供が大切なので引き続き行っていく。歯科へつなぐ。（介護支援専門員）

・口腔ケアと健康とのつながり、肺炎予防などの話を分かりやすくしていく。取り組みやすいケアを提案する。一緒に考える。（介護支援専門員）

・訪問時に家族や本人へ月１回しっかり確認していこうと思う。（介護支援専門員）

・訪問診療、往診できるなど情報提供を行う。（看護師）

・訪問診療について知ることができ、勧めていきたいと思う。（看護師）

・口腔トラブルがあり、訪問歯科などが必要であればケアマネさんに伝え、

導入してもらえるようにつなぎたい。（看護師）

・デイサービスの利用者様へ口腔ケアをすることで誤嚥の防止につながること、健康面などをレクリェーションの場で伝えていく時間を作っていこうと思う。（看護師）

・口腔ケアは意識して聞いたり、実施したりしているので、今後も引き続きしていきたい。口唇のケアを一番にするとよいと知ったので行ってみたい。（看護師）

・あいうべ体操の導入。口腔ケアの講演を歯科医師にしてもらう。（看護師）

・若いころから口腔ケアを心掛け、認知症になってもできるような習慣づけができたらいいと思う。若い人への働きかけが必要。（介護福祉士）

・誤嚥性肺炎とはどんな病気かということをもっと啓発していきたいと思う。（管理栄養士）

・訪問歯科診療を勧めたいと思った。（介護支援専門員）

・毎日の利用者の口腔ケアをしていきたいと思う。（介護職）